



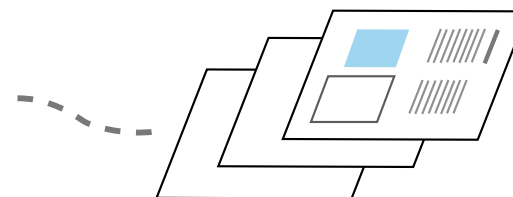
第三部 二十三番から三十四番

# 秩父札所巡り

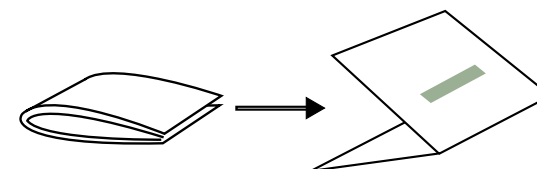


## 使い方のご案内

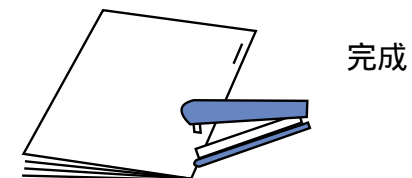
1. プリントアウトする！  
プリントアウトは「きれい」モードで



2. 二つ折りにして表紙に綴じる



3. ホチキスでとめて出来上がり



完成

## 高速読み取りを実現したドキュメントスキャナ 「DR-5020/5080C」

好評発売中



107枚/分の高速読み取りと両面読み取りを実現  
サイズ、厚みの異なる原稿も一括読み取り  
カラー、ドロップアウトカラーにも対応  
デスクトップサイズで使いやすいデザイン  
TWAIN、ISISドライバを同梱

### キヤノン電子株式会社

〒369-1892 埼玉県秩父市下影森1248番地

TEL. 0494-23-3111 (代)

URL: <http://www.canon-elec.co.jp/>

# 札所二十三番 松風山 音楽寺

しょうふうざん

おんがくじ

## 【物語】

天長年間（八二四〜八三四）、慈覚大師が巡行した際この地で聖観音を刻んだ。安置する場所を探し山道を行くと、多数の小男鹿（牡鹿）が道案内をした、という伝説がある。

## 【記事】

観音堂の脇にある梵鐘（ぼんしょう）、秩父札所随一の音色として有名である。

鐘身には、人間の持つ百八つの煩惱を表した乳頭（丸い突起）と、聖観音、不空縹索観音（ふくうけんじゃくかんのん）、十一面観音、如意輪観音、千手観音、馬頭観音の六観音が鑄込まれている。

境内には、秩父困民党無名戦士の碑もあり、日本近代史の始まりを偲ばせてくれる。



鐘楼堂



演歌歌手のポスターなどが



音楽寺本堂

## 【ひと言】

音楽寺という近代的な寺の名は、松の梢を吹く風の音から生まれたそうである。

近年は、音楽に関する願い事をかなえてくれる寺として、新人歌手や、スター歌手が、ヒットが出るようにと祈願に来ることで知られている。

## 【御詠歌】

音楽のみ声なりけり小鹿坂の

調べにかよう峰の松風

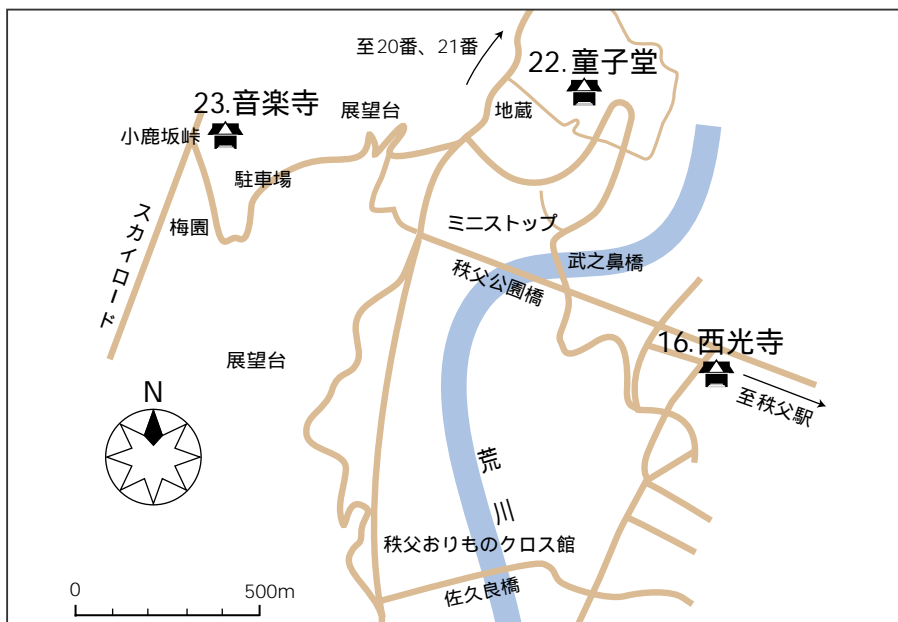
## 【所在地】

〒三六八 〇〇五六

埼玉県秩父市大字寺尾三七七三

## 【電話番号】

〇四九四 二五 三〇一八



# 札所二十四番 光智山 法泉寺

こうちさん ほうせんじ

## 【物語】

昔々、武蔵国の恋ヶ窪に、口中の腫れ物に苦しむ遊女が居た。

遊女は観音を信仰する大変慈悲深い女性で、毎朝修行僧に施しをしていたという。そんなある朝、秩父から来たという僧が、一本の楊（やなぎ）の枝を遊女に与え、「この枝で口の中をそそぎなさい」と教えた。

遊女は、僧の教えどおりに楊の枝で口の中をそそいでみる事にした。すると、口中の腫れ物はみるみるうちに快癒し、痛みも全て消えてしまった。

以来、この寺には病の回復を願う礼拝者も多いという。

## 【記事】

毎年四月十八日の縁日の日には地元の人々が集い、廻り念仏が行われる。

廻り念仏は、境内に集まった人々が輪になって座り、念仏を唱えながら大数珠（約十メートル）を隣の人に廻していくものである。そのため、大数珠廻



観音堂

内部には前立本尊観世音が安置されている



百十六段の石段

しとも呼ばれている。大数珠は、本堂の右側に吊るしてあり、参詣者が手に触れることができる。

## 【ひと言】

百十七段の石段を登りきった境内からは、田園風景と共に、秩父のシンボルである武甲山を望む事ができる。子供の頃境内で遊んだ記憶が目前に甦ってくるような、そんな懐かしさ溢れる風情である。

## 【御詠歌】

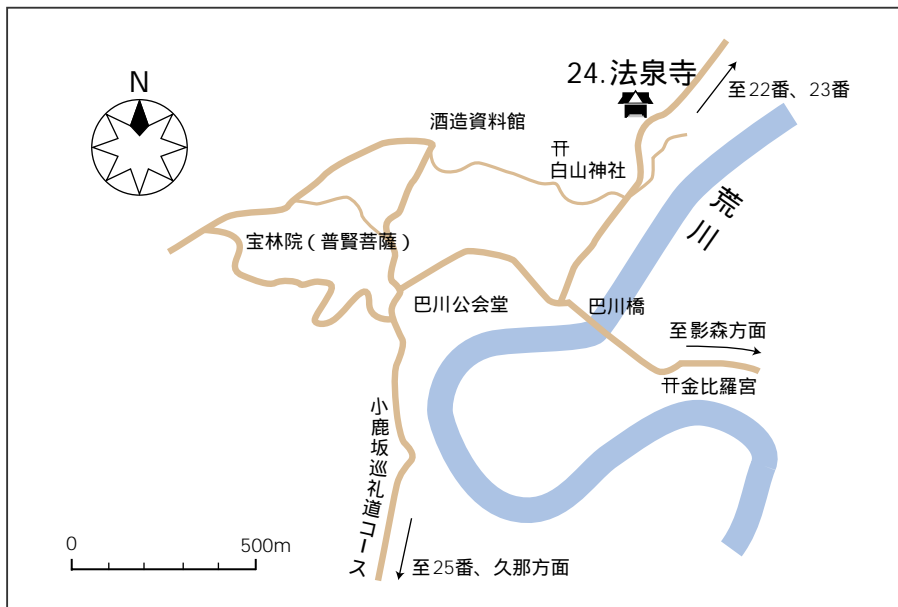
天照す神の母祖の色かへて  
なおもふりぬる雪の白山

## 【所在地】

〒三六八 〇〇五四  
埼玉県秩父市別所一五八六

## 【電話番号】

〇四九四 二二三 〇九四三





御手判の版刷り



弁天池と久昌寺境内



観音堂

# 札所二十五番

岩谷山 いわやさん

久昌寺 きゅうしょうじ

## 【物語】

昔々、様々な悪行を積み重ね、家族や村人からも追い出された鬼女が居た。  
 鬼女は、ここ久那の岩洞に住み始め、一人の女の子を出産した。しかし、これまでの悪行が祟って、娘が十五歳の時に命を落としてしまった。  
 ただ一人残された娘は母親とは異なり、非常に澄んだ美しい心の持主だった。そのため母親の罪を大変悲しみ、後世で母親が苦しまないようにと観音堂の建立を発願した。この娘のやさしさに心打たれた村人達は、彼女に惜しまず協力をし、観音堂は建立されたという。

## 【記事】

秩父霊場を創ったとされる性空上人が、冥土の閻魔大王の前で経典十万部を読み、その御礼として石の証文と石の手判を持ち帰った。  
 その石の証文は両国二十四番中山寺へ、石の手判は当寺、久昌寺へ納められた。そのため、別名御手判寺と呼ばれ閻魔の御手判の版刷りを授与してもらった事も出来る。

## 【ひと言】

観音堂の裏手には弁天池があり、周囲の木々を水面に映し出している。  
 その様は、とても静寂で落ち着きの漂うものであり、心が洗い流されるよつである。

## 【御詠歌】

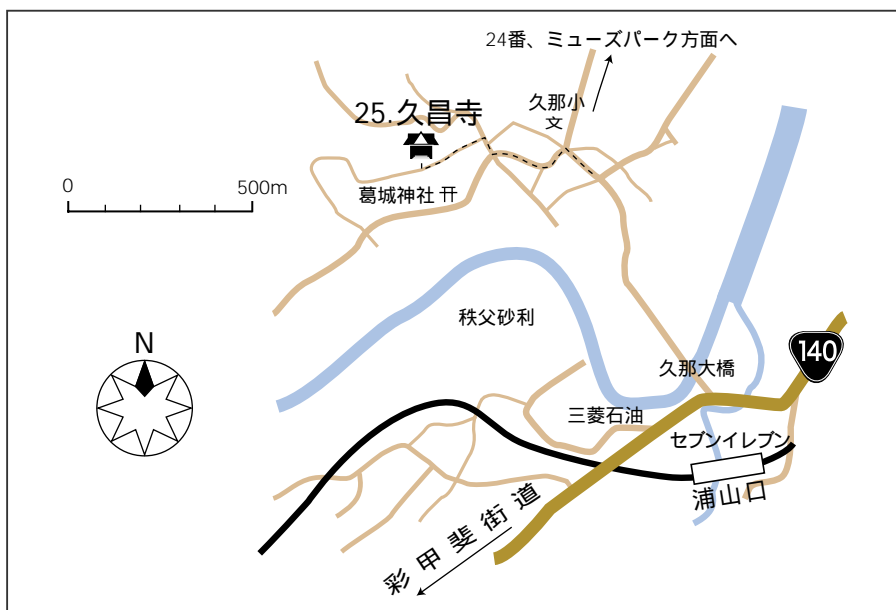
みなかみ  
 水上はいづくなるらん岩谷堂  
 朝日もくなく夕日かがやく

## 【所在地】

〒三六八 〇〇五三  
 埼玉県秩父市久那二二一五

## 【電話番号】

〇四九四 一三三 七三〇九



札所二十六番 万松山 円融寺

ばんしょうざん

えんじゆうじ

【物語】

その昔、弘法大師がこの地に巡錫（じゅんしゃく）し、二十一日間に及ぶ護摩（ごま）の修行を成し遂げると、そこに観世音が現れて、「この事後の大徳に任せよ」と告げた。その後、巡錫に訪れた恵心僧都は、聖観世音を彫り、村人と共に堂宇を建立して観世音を安置したという。

【記事】

本寺には県指定文化財である鳥山石燕（とりやませきえん）作の「景清牢破りの絵馬」や、その門人である石中女が十三歳の時に描いたとされる「紫式部石山寺秋月の図の絵馬」が寺宝として保管されている。



断崖の上に建つ観音堂（岩井堂）



円融寺本堂

【ひと言】

円融寺の奥の院といった存在の岩井堂までは険しい岩場や山道を登る。しかし、その分辿り着いた時の満足感は格別であり、昔ながらの霊場といった雰囲気味わう事ができる。

【御詠歌】

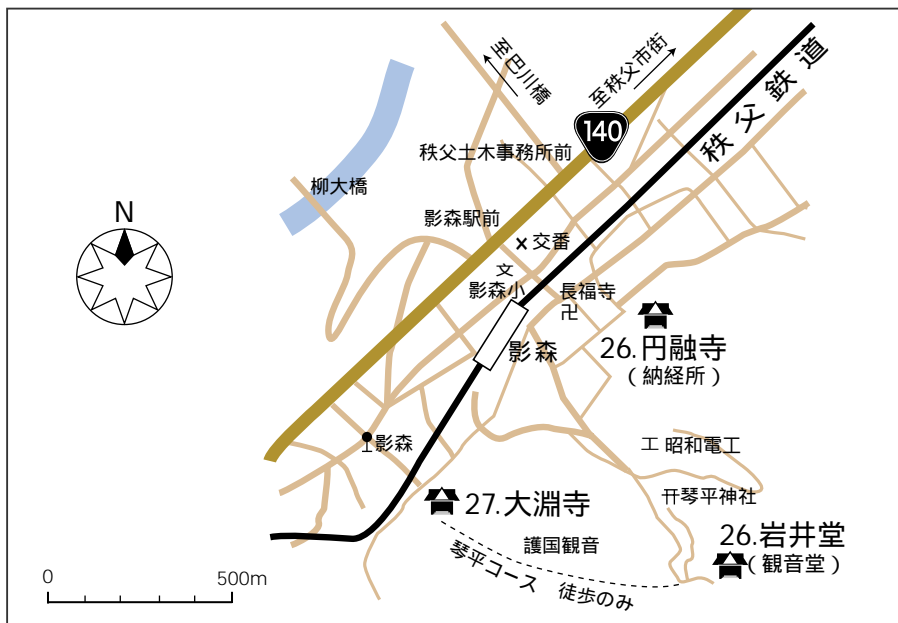
尋ね入りむずぶ清水の岩井堂  
心の垢をすすがぬはなし

【所在地】

〒三六九 一八七一  
埼玉県秩父市下影森三四八

【電話番号】

〇四九四 二三 八八三八





高さ15mの大観音



観音堂

# 札所二十七番

竜河山 りゅうがさん

大淵寺 だいえんじ

## 【物語】

宝明（ほうめい）という名の行脚僧が、ここ影森の地で病に倒れ、七年の間病床にあった。そこへ訪れた弘法大師は、宝明から病の話を聞くと、聖観音像を彫り与えた。宝明は病の回復を祈願し、礼拝を続けた。するとどつした事が、七日目に靈験があり病は跡形もなく完治してしまった。これに歓喜した宝明は、弘法大師の彫った観音像を本尊として、堂宇を建立したという。

## 【記事】

毎年四月には護国大観音縁日が催され、平和祈願が行われている。

高さ十五メートルもある護国大観音は、高崎観音・大船観音と共に関東三観音の一つに数えられている。平成八年に「月影堂」（観音堂）が再建される。

## 【ひと言】

境内から見上げる大観音像は、やさしい顔で参拝者を見守ってくれている。山々の木々に囲まれた風景の中から、一光が差すようなかたちで大観音像を眺める、というのもまた良いものである。

## 【御詠歌】

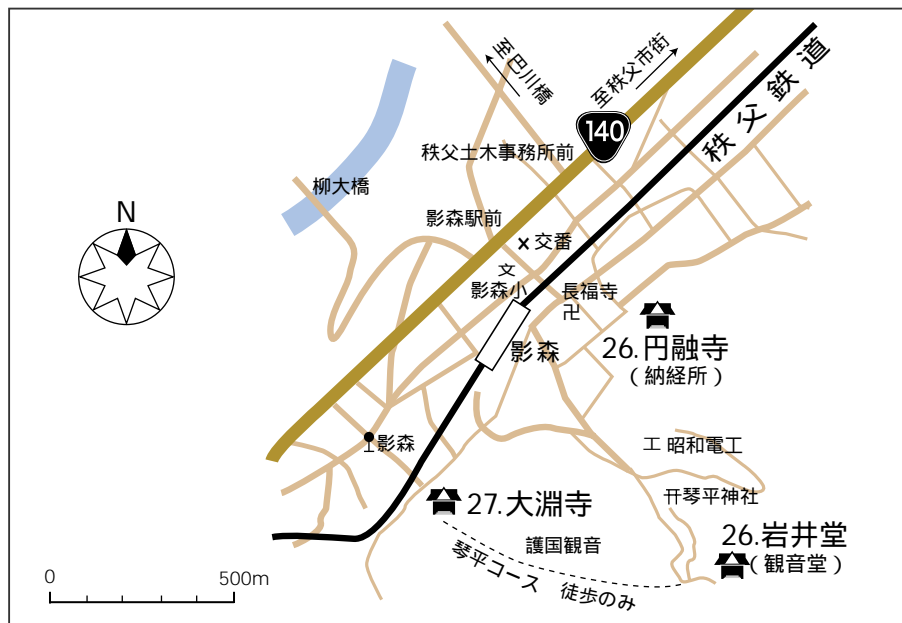
夏山やしげきが下の露までも  
心へだてぬ月の影もり

## 【所在地】

〒三六九 一八七二  
埼玉県秩父市上影森四一一

## 【電話番号】

〇四九四 二二二 五二五九





切り立った岩壁を背景に建つ本堂



馬の観音様にふさわしく、馬の像や絵馬が多い

# 札所二十八番

せきりゆうざん  
石龍山

はしたてどう  
橋立堂

## 【物語】

その昔、弘法大師が柚の老木を刻んで馬頭観音とし、ここに安置したのが始まりといわれている。西国、坂東、秩父の百観音霊場のうち、馬頭観音を本尊としているのは本寺と松尾寺（両国二十九番）だけであり、非常に珍しいものである。

## 【記事】

納経所の側に橋立鍾乳洞（県天然記念物）の入口があり、全長二百メートルに及ぶ洞内を探索する事ができる。別名岩陰遺跡とも呼ばれ、遙か昔には古代人が住居として使用していたという。

## 【ひと言】

観音堂の背後には巨大な絶壁がたたずみ、その影は礼拝者を飲み込まんばかりである。その迫力は一見の価値がある。

## 【御詠歌】

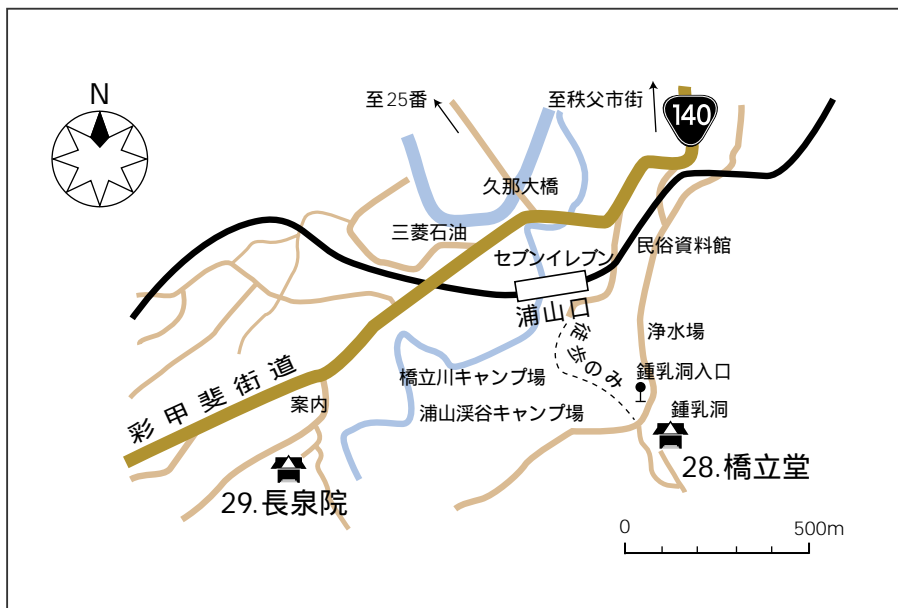
霧の海たち重なるは雲の波  
たくひあらじとわたる橋立

## 【所在地】

〒三六九 一八七二  
埼玉県秩父市上影森六七五

## 【電話番号】

〇四九四 二四 五三九九





美しい境内に建つ本堂



参道前にある見事な枝垂桜

# 札所二十九番 笹戸山 長泉院

ささとさん

ちようせんいん

## 【物語】

元正天皇の頃、山の麓に龍女が現われ不思議な灯りをともし、村人達は大変気味悪がっていた。そこへ十余人の巡礼僧が立ち寄ったので、村人は灯りのともる岩屋まで案内する事にした。すると、岩屋から聖観音像が発見された。その後村人達は僧の指示に従い、ここに堂を建て聖観音を安置したという。

## 【記事】

この寺には、秩父観音霊場開山の折に奉納されたものといわれる石札をはじめ、葛飾北斎の描いた「桜花の図」、更には洛東山の香炉、地獄極楽の絵草紙、徳川將軍の奉納品などの寺宝がある。

## 【ひと言】

参道入口には大きな枝垂れ桜があり、春にはその美しさが巡礼者の疲れを癒してくれる。また、境内には四季折々の花があふれ、奥には数多くの竹林の侘びが静けさを保ち、参拝者の目を楽しませてくれる。

## 【御詠歌】

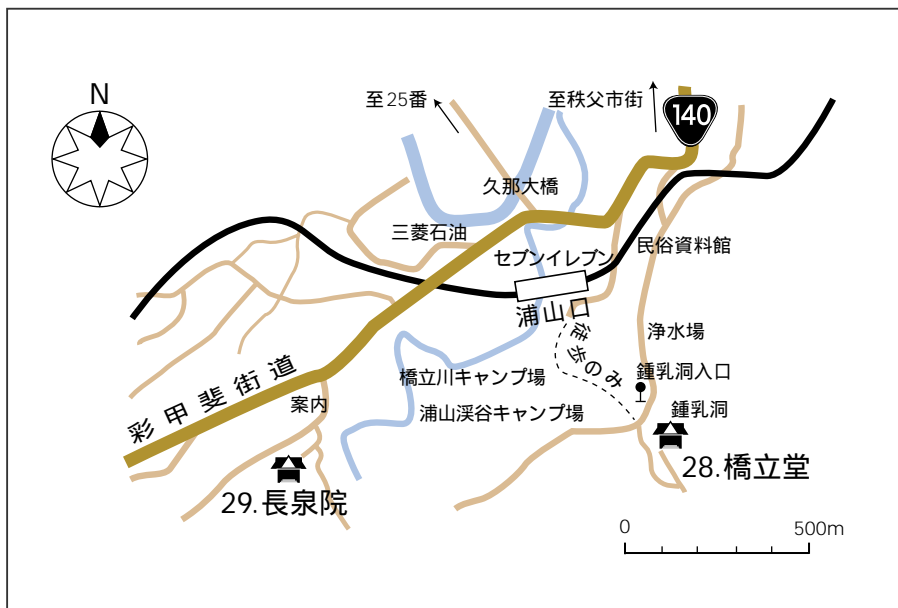
分けのほり結ぶ笹の戸おし開き  
仏を拝む身こそたのもし

## 【所在地】

〒三六九 一八〇二  
埼玉県秩父郡荒川村上田野五五七

## 【電話番号】

〇四九四 五四 一一〇六



札所三十番 瑞龍山 法雲寺

ずいりゅうざん

ほうじゆんじ

【物語】

平安時代、深谷山・岩の上堂に安置されていた深谷（ふかたに）観音が、鎌倉時代法雲寺開創に伴って、法雲寺境内に遷された。

【記事】

寺宝として、天文年間の古納札六枚や「天狗の爪」「龍の骨」「楊貴妃の鏡」などがある。ゆえに、本尊の如意輪観音は楊貴妃観音といわれ、鎌倉建長寺十九世道隱禅師が唐より持ち帰った仏像といわれている。



法雲寺本坊（納経所）



岩之上堂の次に古い建物といわれる観音堂



古い納札

【ひと言】

周囲を山々に囲まれた立地条件もあり、非常に静粛さを感じさせる落ち着いた雰囲気、古都、京都の寺を思わせる。

また、花の寺としても知られ、四季折々の花に彩られる。

特に四月下旬から六月下旬にかけて、つじ、ふじ、さつき、あじさいの花が次々と咲き見事である。

【御詠歌】

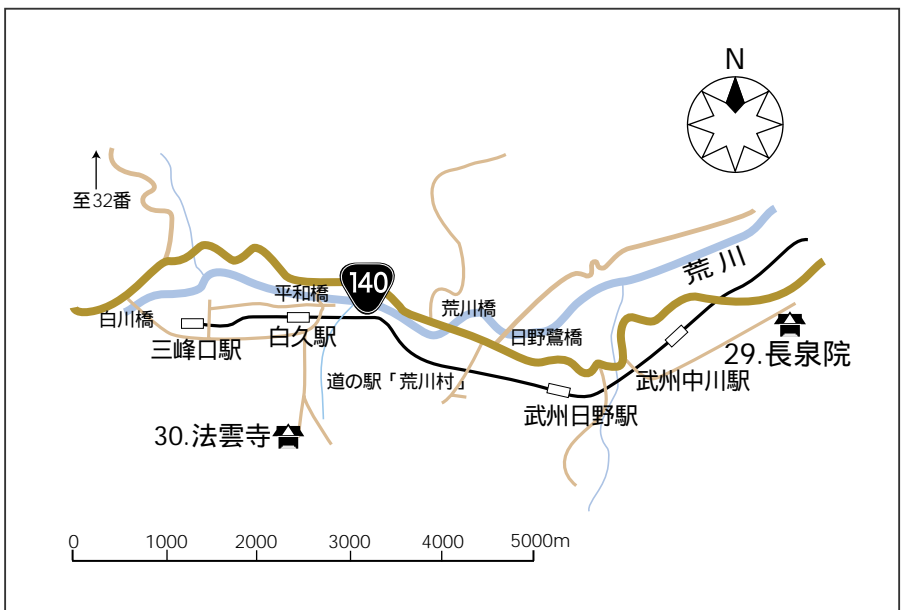
一心に南無観音と唱ふれば  
慈悲ふか谷の誓ひたのもし

【所在地】

〒三六九 一九一二  
埼玉県秩父郡荒川村白久四三一

【電話番号】

〇四九四 五四 〇一〇八



札所三十一番 鷲窟山 観音院

しゅうくつさん

かんのんいん

【物語】

鎌倉時代の初期、畠山重忠がこの地に狩りにや  
つてきた。鷲の巣を見つけたので矢を射ってみた  
が、どうしたことか、何度射つても全て跳ね返さ  
れてしまう。不思議に思った重忠が、巣を降ろし  
てみると、平安時代将門の乱で所在不明になつて  
いた聖観音像がそこにあつた。その後重忠はここ  
に堂を建て、聖観音を安置したという。

【記事】

観音堂の左手には「聖浄の滝」、滝の左側の岩  
肌には弘法大師が一夜にして彫りあげたと伝えら  
れる「爪彫り千体仏」がある。又、境内・東・西  
の奥の院には、八十八体の弘法大師像を含む百九  
十体の石仏が安置されている。



観音堂

参道には石仏や  
句碑がいっぱい



岩窟に並べられている石仏

【ひと言】

岩肌に打込まれた鎖を使わないと、登れないよ  
うな所に石仏がある。胎内くぐり岩の岩穴をくぐ  
りぬける途中には、子育観音があり、ちよっとし  
た冒険を体験するのも、たまには良いものである。

【御詠歌】

深山路をかき分け尋ね行きみれば  
鷲の岩谷にひびく滝つ瀬

【所在地】

〒三六八 〇一一一  
埼玉県秩父郡小鹿野町飯田観音二二二

【電話番号】

〇四九四 七五 三三〇〇



# 札所三十二番 般若山 法性寺

## 【物語】

昔々、武州豊島郡からこの地に豊島権守の娘が嫁にやってきた。  
 その娘が実家に帰るため「さいが淵」を通りかかった時、突然、悪魚に襲われてしまい溺れそうになった。すると、どこからか一艘の舟が近づいてきた。その舟には笠をかぶった女性が一人乗っており、溺れかけていた娘は幸運にも助かった。この舟を漕いでいた女性こそ、法性寺本尊の化身だった。それを知った父権守は大変感謝し、三日三夜般若心経を写し続け、この寺の観音様を供養し深く帰依した。

## 【記事】

行基菩薩作といわれる本尊の聖観世音は、冠の上に笠をかぶり舟を漕いでいるという、非常に珍しい観音像である。



観音堂



二階建ての山門



山頂奥の院の観音像

## 【ひと言】

本堂の更なる奥へ道無き道を進んで行くと、奥の院の観音像及び大日如来像に出会えるのだが、その道はとても険しい。

しかし、そこから眺める壮大な景色は格別であり、苦勞して歩むだけのなにかがそこにはある。

## 【御詠歌】

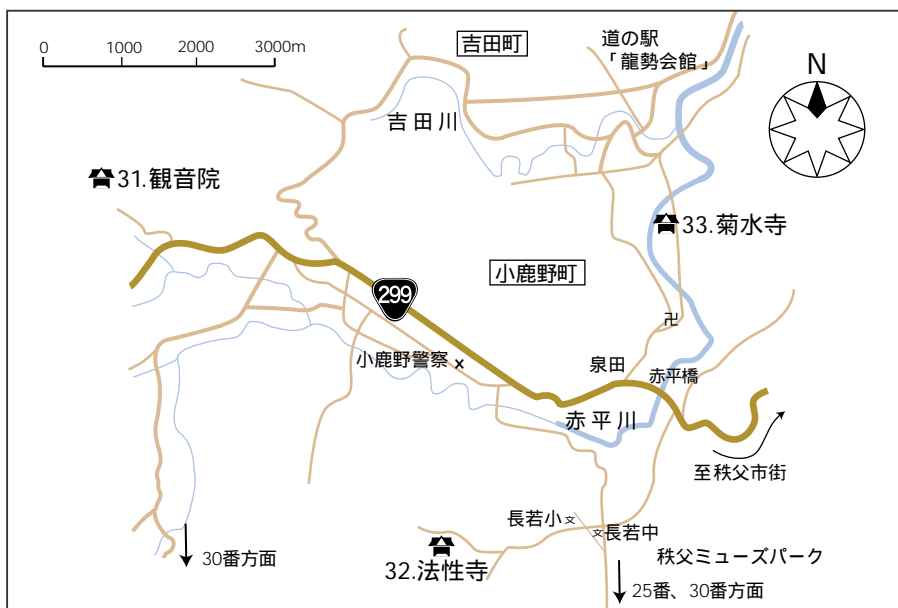
願わくは般若の舟にのりを得ん  
 いかなる罪も浮かぶとぞ聞く

## 【所在地】

〒三六八 〇一〇三  
 埼玉県秩父郡小鹿野町般若二六六一

## 【電話番号】

〇四九四 七五 〇四一〇



札所三十三番 延命山 菊水寺

えんめいさん

きくすいじ

【物語】

昔々、本寺の近くの峠に八人の盗賊が住みつき、悪事を繰り返していた。そのため、八人峠と呼ばれ村人や通行人から恐れられていた。

ある日、そこへ旅の僧が通りかかった。盗賊達はいつものように僧が身に付けている物を剥ぎ取るうとした。ところが、僧が手に印を結んだ途端、金縛りにあったかのごとく全く身動き出来なくなってしまう。

そして、「盗みの罪はきわめて重いが、今ここに心を改めるなら仏の慈悲が下されよう。」という僧の戒めに、八人の盗賊は許しを請い、僧から与えられた三つの観音像を安置し、仏道に励んだ。

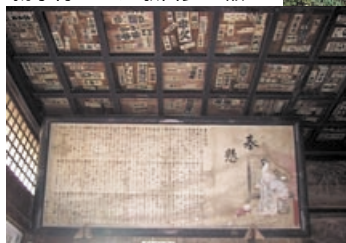
【記事】

本堂の前には、埼玉県最古の句碑である松尾芭蕉の句碑があり、菊塚「寒菊や粉糠のかかる臼の端」と記されている。



本堂

親孝行いろは歌留多の額



【ひと言】

本堂では礼拝者への飴のサービス・お接待があったりと、心暖かく巡拝者を迎えてくれる。その細やかな心配りに、また、観音様の心を垣間見た気がする。

【御詠歌】

春や夏冬もさかりの菊水寺秋のながめに送る年月

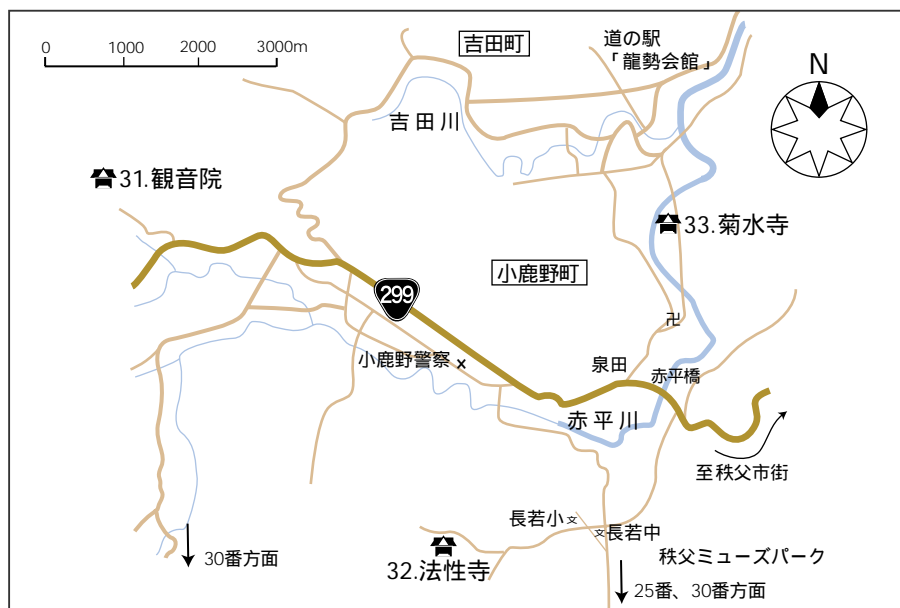
【所在地】

〒三六九 一五〇三

埼玉県秩父郡吉田町桜井一〇四

【電話番号】

〇四九四 七七 〇三三三



# 札所三十四番 日沢山 水潜寺

につたくさん

すいせんじ

## 【物語】

平安時代前期、この地は雨が降らず旱魃（かんばつ）に苦しんでいた。そこへ一人の旅僧が現れ、村人に観音信仰を説き、木札に「樹甘露法雨」と墨書して立てた。すると、瞬く間に雨雲が空を覆い、雨を降らせたという。その地、札を建てた所が札立峠、祈った所が水潜寺の始まりである。

## 【記事】

本堂までの参道には、三十三観音石像が両側にずらりと並んでいる。また西国、坂東、秩父の百霊場の砂を一カ所に集めた場所に足型があり、この上から拝むと、改めて百霊場の功德が得られるという。



参道に並ぶ三十三観音



本堂

## 【ひと言】

ここ水潜寺で、秩父札所三十四カ所の巡礼も、ひとまず完了を迎える。数々の難所を歩きつくし、全ての札所を巡礼した経験は、必ずや巡礼者各自の心の強さとなり、より良い方向へ導いてくれることだろう。この思いを一人でも多くの人々と分かち合うことが出来れば、これ幸いである。

## 【御詠歌】

萬代の願ひをここに納めおく  
苔の下より出づる水かな

よつよ  
よつよ

## 【所在地】

〒三六九 一六二五  
埼玉県秩父郡皆野町日野沢三五二

## 【電話番号】

〇四九四 六二 三九九九

